

東高同窓会報

発行所

千葉県立木更津東高等学校

同窓会本部事務局

〒292-0056

千葉県木更津市木更津2-2-45

会員相互の啓発の場に

会長 鹿島典子



同窓会会員の皆様には日頃格別のご理解とご協力を賜りましてありがとうございます。平成27年度の総会も多くの方々に参加頂き、懇親会も当番幹事27回生のきめ細かな心配りが随所に見られ盛大に行われました。

・戦後70年の今年母校の同窓会に勤労動員の明け暮れを聞く

・軍隊の如歩調とり敬礼し海軍工廠の門くぐりしか

・知られず特攻隊の部品作りしと往時の女学生言葉詰まらす

・通年動員され辛酸を共にせし米寿の先輩らたをやかに在す

このような極めて特異な時代があったことや、勤労動員を解除された生徒達の描いた墨絵日記「回顧昭和廿年」の存在等、同窓会は改めて母校の歴史と向きあう機会となりました。

創設百周年を越えた東高同窓会は世代を超えた多くの会員で成立しています。僅か3・4年間の縁ですが、総会に集えば忽ち東高時代にタイムスリップ

し、同窓生という同類項に違和感なく収まります。それは取りも直さず皆様が充実した高校生活を過ごしたという共通の土壌に立っている証です。実社会でご活躍中の方々、第2の人生を心豊かに過ごしている方々、会員相互の啓発、明日への活力を養う場として同窓会で大いに交流いたしましょう。

生徒達は快適な環境の下で日々勉学に勤しんでいるそうです。国をあげて女性の活躍が期待されていますが、東高生は男女共に己を磨き自信を持って社会に羽ばたいて欲しい、悔いのない東高生活を実現して欲しいと願っています。

就任のご挨拶／新しい時代の新しい東高をめざして

校長 山本昭裕



木更津東高等学校 校同窓会の皆様、日頃から本校の学校経営にご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

平成の時代も28年目を迎える現代において、若者を取り巻く環境、本校ならびに千葉県における高等学校教育を取り巻く環境、君津・木更津地区の学校教育をめぐる環境、どれを見ましても、大変に変化が大きく、厳しい状況に置かれていることがわかります。

全日制は、県下に2校のみとなった女子高であります。女子高というところを良い方向に活かすことが強く求められています。

全日制の生徒は、落ち着いた、明るい生徒が多く、穏やかな学校生活を送ってくれています。その雰囲気から心することなく、様々な面での改善を推し進める必要性を感じています。また、定時制をめぐっては、給食の試行的廃止対象校に指定され、来年度からは給食にかわる食事の提供を考えていかなければならない等、経営上の課題が多く山積みとなっています。

その改善の第一歩として、清和大学・清和大学短期大学部との教育提携協定を結び、本校生徒は本校における教育資源に加えて、大学、短大のもつ教育資源を活用することができるようになりました。加えて、本校の若手職員の研修の場としても活用させていただきまします。また、現代社会で活躍する女性に、その生き様を語っていただく、仮称「ハンサムウーマン育成プロジェクト」など、様々な取り組みを企画実施していく覚悟であります。ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

この人

—教育の道
ひとすじに—米本(佐生)弥栄さん
高9回生

「もう、こちら(旭市)での生活が半世紀と長くなりました」そうおっしゃる米本さんは、故郷佐賀町や房総の山々に思いを馳せるように、懐かしい二高時代(現在の東高)を振り返られました。

1年生の時は植松仁子先生(東高同窓会報6号「この人」で紹介)が担任で大そう元気の良い先生だったこと、受験勉強には図書館や学校の教室をよく利用し、部活動は理科クラブに所属していたそうです。御専門の理科への萌芽はすでに此の頃から芽生えていたのでしょう。

お父様が教師だったこと、商店を営むお母様の生き方から自然と教育への道に進んだとおっしゃいます。

公立小・中学校の教師として君津・木更津地区で4年間教鞭をとられ、結婚して旭市に住み、銚子・旭地区に勤務されました。38年間の教員生活の中で最も心に残ったことは、ある生徒の能力を見極め励ましたことが切っ掛けでその生徒は、意欲的に勉学に励み、木更津高校を主席で卒業し現在海外で活躍している。誉めることの大切さを認識したそうです。

優れた指導力と実行力、高い見識で地域の教育界をリードしている米本さんですが、大人への過渡期にある中学生に向き合う日々は進学問題や生徒指導(非行問題)など毎日が苦勞の連続

だったと述懐されます。

米本さんは、東総地域(銚子・旭・匝瑿)で初の女性中学校長に、更には旭市の学校教育課長として教育長として、学校教育をはじめ教育行政の多方面から地域教育の振興に寄与されました。この功績に対し、平成27年春の叙勲により、瑞宝双光章の栄に浴せられました。ご自身の長年の努力の結果とは思いますがご本人は、良き先輩や同僚に恵まれ、多くの皆様方のお力添えによるものと、その謙虚さにお人柄が偲べれます。

一方、家庭にあつては母として3人のお子様を立派に育て上げました。趣味は、水彩画を描くこと、美術鑑賞、山登り(学生時代はワンゲル部)など。夫君のカメラ趣味を手伝い海外の砂漠やネパールの山中まで出かけ、最近ではデジタルカメラ・ビデオ撮影も始められたとか・夕べには夫婦でウォーキングされる姿が見られるそうです。

この機会に皆様にお伝えしたい事を語ってくれました。「女性の社会進出が理想と現実に未だギャップのあるのは否めませんが、与えられたチャンスは逃さないこと、経験が人を大きく成長させ、豊かにしてくれるのです。良き指導者を見つけ、女性である事を意識せず一人の人間として最善を尽して生きている事が大切であると思います。後輩の皆様の良き人生を期待します。」

教育長退任後も数々の公職に就かれている米本さんのご健康と、益々のご活躍を心より祈念いたします。

(文責広報委員会)

絵日記「回顧昭和廿年」

木更津市郷土博物館

金のすずきに寄贈される

—平成27年5月—

「回顧昭和廿年」は美術担当の蔵持正三先生(昭和19年・38年間勤務)が「昭和20年は日本の歴史上は勿論、君達の人生にとっても忘れられない年となるからこれを絵と文で残す様に」と終戦直後の昭和20年の冬休みに宿題として生徒に書かせたものです。



1月 神風週間正月返上で作業に

昨年は戦後70年、多くの方々がさまざまな思いを抱いて戦中戦後に向き合った年でしたが、この日記が生まれた当時を振り返って見ましよう。

木更津町では昭和11年に木更津海軍航空隊が開隊し、昭和16年には厳根に第二海軍航空隊が設置されました。

本校では昭和13年から全校挙げて各町村への集団勤労奉仕が始まりましたが、やがて「学徒戦時勤労体制確立要綱」によって「勤労奉仕」は「勤労動員」にかわり「教育は錬成」と位置付けられました。そして、学校諸共戦時体制に引き込まれて行きました。

昭和19年、4年生(本科33回生)に通年勤労動員命令が下りました。4年生は即時第二海軍航空隊に入隊し6月から卒業まで只管「銃後のまもり」に

ついたので。本科34回生は3年生の9月から終戦まで丸1年間、本科35回生は2年生の3月から終戦まで女学生とは名のみの女子工員として激動の青春を過ごしました。2年生まで通年動員されたのは県下の高等女学校の中でも本校だけでした。こうした背景の下で「回顧昭和廿年」は生まれたのです。

蔵持先生は東高での一番の思い出は生徒に絵日記を書かせたこと、それをNHKに応募し入選したことと語っています。この中の56枚の絵を先生が大切に保管しており、先生の死後ご遺族が発見されました。これらの絵には八重原工場や佐貫地下工場など木更津市以外の地域の描写もありますが、木更津高等女学校の所在地である木更津市にと、ご遺族が寄贈されました。

金のすずきは「実体験に基づく政治的背景のない記録として当時の状況を知る大変貴重な資料である。大切に保管したい。」と高く評価しています。

制作された方々のご要望に応じ、「回顧昭和廿年」が木更津市に寄贈されたことを、東高同窓会報紙上にて会員の皆様方にご報告致します。

*木更津は昭和17年11月3日市制執行しました。
*NHKへの応募に関しては、NHKに問い合わせましたが、詳細は不明でした。



8月 玉音放送を受け八重原工場から退去

平成27年度総会

平成27年8月23日10時45分より、ロイヤルヒルズ木更津ビューホテルにおいて恒例の同窓会総会が202名の参加者をもって開催された。

総会次第

- 一 開会のことば
- 二 会長挨拶
学校長挨拶
- 三 議事
 - 1 平成26年度 事業報告
決算報告 会計監査報告
 - 2 平成27年度 事業計画案
予算案
 - 3 役員改選
 - 4 その他
- 四 新役員紹介
- 五 諸連絡
- 六 閉会のことば

鹿島会長は冒頭の挨拶で、参加された皆様に感謝の言葉を述べた。続いて木更津市郷土博物館金のすずにおいて特別展「昭和20年の木更津」が開催中であり、その中に当時の木更津高等学校の生徒が描いた「回顧昭和廿年」という墨絵日記が展示されていることを話した。これは美術の蔵持正三先生が昭和20年12月の冬休みの宿題として課したもので、これらは今回同博物館に寄贈されたことなど、この墨絵日記が生まれた時代背景を含め話した。山本校長は挨拶の中で、本校の現状

について「女子高としての伝統を保ちながら、現代社会に有用な人材を創るべく新たな取り組みを模索している。また、定時制の給食は県として廃止の方向であるが残るよう努力していく」と述べた。大きな出来事として空調が完備されたこと、そして今後の経営について話した。

議事に入り、1・2・3号議案は質疑なく承認された。新会計監査の佐藤明美さんが紹介され、会計監査の金井恵さんと常任理事の武田とし子さんが退任した。出席した金井さんに感謝の花束が贈呈され総会は無事終了した。



尚、総会に先立ち、理事会が6月27日に家庭経営実践室にて開催された。

平成27年度 懇親会報告

「歴史と伝統を

感じながら…」

平成27年度木更津東高等学校同窓会総会、懇親会を、8月23日(日)ロイヤルヒルズ木更津ビューホテルで開催しました。幹事を仰せつかった時には不安でいっぱいでしたが、本部の方々やたくさんの方々の先輩方に助けていただき、同期の皆さんに協力をしてもらい、無事に責任を果たすことができました。ほっとしているところです。

総会で会長さんから木更津市郷土博物館金のすずの特別展「昭和20年の木更津」の中で70年前の先輩が戦中、戦後の生活の様子を描いたものが、展示されていると紹介され、資料も頂きました。そして懇親会では、先輩方より

戦争当時の女学校生活のお話を聞くことができました。戦後70年の今年、先輩方のお話を聞く機会は大変貴重で、感動したという声を参加された方々から沢山いただくことができました。

懇親会では、参加された方々と共有の時間を持ちたいと、映像で今までの同窓会の歴史を感じたり、懐かしい曲と一緒に歌いました。録音ではありましたが、現役の東高生と歌声と一緒に響かせることができ良かったです。何よりだったのは、今回40年ぶりに再会できた仲間が沢山いたことです。



これを機に同期生たちが全国から集まってくれました。クラス単位の会は、何度か開くことができましたが、学年となるとなかなか集まれませんし、これからできないと思います。しかしこれを縁にこれから長く連絡を取り合い一生の仲間となっていく友達もできていくのではないかと思います。これも長い間、同窓会の方々がこの会を続けてくださったおかげと感謝しています。今回その一端を同窓会当番幹事として関わらせていただいたことに感謝し、報告とさせていただきます。当番幹事代表 重田 吉子(高27回)

平成26年度木更津東高等学校同窓会決算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

I 収入の部				
科目	予算額	決算額	増減	付記
1 雑収入	1,139,268	1,139,268	0	
2 会費	432,600	409,500	△23,100	157名(全)38名(定)
3 雑収入	1,000	90,184	89,184	寄付、利息
合計	1,572,868	1,638,952	66,084	

II 支出の部						
科目	予算額	修正額	予算現額	決算額	残高	付記
1 会議費	30,000	20,000	50,000	47,656	△2,344	理事会、総会
2 事務費	80,000	0	80,000	41,245	△38,755	通信費等
3 雑費	40,000	0	40,000	1,339	△38,661	
4 出張費	10,000	0	10,000	0	△10,000	
5 後援費	250,000	0	250,000	175,432	△74,568	卒業記念品等
6 会報出版費	80,000	0	80,000	72,792	△7,208	
7 雑費	5,000	0	5,000	0	△5,000	
8 予備費	35,000	△20,000	15,000	0	△15,000	
小計	530,000	0	530,000	338,464	△191,536	
雑収入	1,042,868	0	1,042,868	0	△1,042,868	
合計	1,572,868	0	1,572,868	338,464	△1,234,404	

III 収支決算	
総収入額	1,638,952円
総支出額	338,464円
差引残高	1,300,488円(次期繰越金)

平成26年度木更津東高等学校同窓会積立金会計決算書

単位:円

科目	平成26年度末残高	積立金	預金利息	支取額	平成26年度末現在高
基本金積立	3,500,000	0	0	0	3,500,000

上記のとおり決算報告書を提出いたします。

平成27年4月28日

同窓会長

鹿島 典子 印

監査の結果適正であると認めます。

平成27年4月28日

会計監査

立木 翔子 印

会計監査

金井 恵 印

恩師の近況



丸潤三先生

① 社会科(地理・日本史)

② 富津市

③ S40年から13年間

④ 私は東総の県立匠瑳高等学校が初任でしたので東高は2校目です。次は私の地元でと思っていましたので、地元の名門高女として知られた東高に決まった時は大変嬉しかったことを思い出します。

生徒達は明るくて真面目で、素直でしたから本当に穏やかな勤務生活を送りました。部活動も活発で、文学・運動共に県下でも名の知れた伝統がありました。そんな中で、13年間があつと言う間に過ぎて行った感じでした。

次の異動校を考え始めていた時に峯島校長先生から、53年度に新設される



子安力先生

① 地学 ② 君津市

③ S39年から15年間

④ 普段は、畑仕事、草

刈り、学校から帰りの孫の迎えなどをしながら、生活をしている。また気軽な山旅にも時々出かけている。

昨春秋、八方尾根への一泊二日の山旅に妻と出かけた。途中、糸魚川に立ち寄り、ヒスイの展示等を鑑賞し、その後白馬村に入り宿泊した。翌朝早く、リフトで標高1800メートルまで達した。

- ① 教科 ② 現住所
③ 勤続年数 ④ 現在

県立姉崎高等学校はどうかと推して頂き、県から姉崎高等学校開設準備委員として任命されました。その開設準備の仕事に携った事は私にとって大きな勉強となり、大きな転機となったと思います。

東高勤務の最後の3ヶ月間は、新設の県立姉崎高等学校の設立準備の仕事を並行して行い、大きな勉強であった事を懐かしく思い出します。東高の後には5校に勤務し、平成7年3月に退職しました。

定年退職後は、悠々自適の生活を楽しんで健康の維持と家庭円満を噛みしめています。家庭菜園作りと、緑豊かな里路の散歩は私にとって大変いいことです。

ここから歩行となる。周辺の山には雲がかかっているが、時折雲の切れ間から山容を現す。ようやく2060メートルの八方池にたどり着いた。周囲の山々に囲まれ美しい姿を見せ、大勢の人々がその景色を満喫していた。妻は更に上に登りたいようであったが、ここからは険しそうだである。しばらく八方池の周辺を散策して下山することにした。多くの人々とも出会い、楽しい山旅であった。

これから体力の続く限り山旅を楽しもうと思っている。

木更津東高校

同窓会総会に出席して

同窓会が、202名の参加でロイヤルヒルズ木更津ビューホテルで開催されました。今年の夏は殊の外暑く山本昭裕校長先生の「東高は各教室に冷房が入り生徒は快適な学校生活を送っていますが職員室と校長室はまだです。ここはまさに地獄です・・・」という挨拶に頷き、心に残りました。

戦後70年にちなみ、懇親会では「思い出をふり返って」のコーナーで、片山静江さん(本33回)に当時の学務動員や校庭のいも畑開墾の様子を伺いました。片山さんは昭和20年木高女を卒業、現在88歳。短歌や證誠寺の狸ぼやし保存会会長として幅広く活躍されています。同じテーブルの本多光子さん、石井喜美代さんの話が続き、会場はしんと静まり、当時の学校生活の話に聞き入っていました。

「同窓会には毎年楽しみに参加させてもらっていますよ」とおっしゃる小柴繁男さん(定4回・90才)の学校生活はいかがだったでしょうか。

校歌2曲が二部合唱で歌われ、卒業学年が異なっても東高同窓生という意識を強く胸に抱きました。私達高16回生が当番幹事の時は2年前から総会準備をし当日を迎えることができたことと、自分達の高校生活の思い出がオーバラップし、旧友や恩師、先輩後輩との親交を深め、懐かしい思い出を辿る一日を過ごすことができました。

藤本 洋子(高16回)

「東高東京菜の花会」へのお誘い

世話人 中島 早苗(高14回)

東京支部は諸事情により、第53回総会を最後に解散となり、その後「東高東京菜の花会」が発足、今年で5年目を迎えます。今回は東京の新名所東京スカイツリーからの眺望と、美味しい料理で楽しい一日を過ごして頂きますよう企画致しました。食後は隅田川の桜並木散策などいかがでしょうか。皆様お誘い合わせの上、多数のご参加をお待ちしています。



第1回東京菜の花会(2012年4月5日)

日時 平成28年4月5日(火)

受付 11時～ 開始 11時半～

場所 東京スカイツリー31階ラッス

リーシノワ邸(銀座アスター)

参加費 6000円

会員登録済みの方には案内状を郵送、新たに参加ご希望の方はご連絡下さい。

TEL 090-3573-0610

中島 早苗

●ご寄付頂きました●

「ひとみの会」高13回生より、学年同窓会残金32,678円を同窓会へご寄付頂きました。ありがとうございます。

在校生の活動

「全 日 制」

清和大学・短期大学との教育連携

教諭 瀬戸 佳子(家庭科)

大学との連携の最初の取り組みとして、本校生徒が清和短大の保育の講義を受ける事になりました。27年10月26日当日は「発達と保育」の授業を受けている3年生の有志14名と山本校長先生・家庭科の教員2名で大学のスクールバスに乗って行きました。普段とは違った時間帯の講義のため、生徒が疲れてしまうのではないかと心配しましたが、講師の荒牧光子先生の「子供文化論」の講義を受ける事ができました。荒牧先生はギターを奏で、歌やお話をしながら机間を回り、保育には欠かせない「手遊び」や「折り紙」等の実習を取り入れ、専門性の高いとても興味深い楽しい講義をしてくださいました。90分はあっという間に終わり、生徒はとても満足した様子でした。

また、11月14日の清和大学の学園祭「清風祭」の特別企画として、3年生の家政科有志19名で6月の東高祭で発表した作品の一部をアレンジしたファッションショーを発表しました。校外での発表は初めてでしたので生徒に



とってとても良い経験になりました。多くの人からの声援を受け好評をいただきました。

この連携は学びの場を広げる有意義な活動であるという手応えを得ました。

かずさ弁当フェスティバル参加

教諭 野村 ゆかり(家庭科)

昨年度のファミリーマートと連携した弁当の企画・販売では卒業生の皆様が沢山購入して下さいましたと伺っております。ありがとうございます。

新聞・テレビに取り上げられる等大きな反響があり、今年度は一般社団法人かずさ青年会議所が主催する「かずさ弁当フェスティバル」での弁当企画・販売の依頼を受けました。このように家政科生徒の学びが地域に浸透し、地域活性化の役割を期待されるのは大変ありがたいことです。早速3年生が地産地消をテーマに、千葉県の特産品を地産地消をテーマに、海産物の資料を手に弁当を考案しました。



9月には試食会を行い、料亭「たく」に「かずさ彩りピーナッツ衣揚げ弁当」として製品化して頂きました。

10月17日(土)のフェスティバル当日かずさアカデミアホールにて販売した際には、生徒達は考案した宣伝看板を手に大きな声で弁当の魅力アピールし、おかげ様で完売いたしました。



弁当のキャッチコピーを「東高生から地域の恵みに感謝をこめて」としたように、海があり山がある地域の豊かな自然と食文化の魅力に、取り組んだ生徒が改めて気づいたことも今回の収穫だったと考えています。

保育ボランティア活動

教諭 榎本 裕美(家庭科)

昨年8月2日(日)に行われた、木更津市立中央公民館主催の「ドキドキ子ども宿泊体験」に家政科の2・3年生10名が参加しました。近隣の木更津第一小学校、西清小学校の4・6年生と一緒に夕食のカレー作りをするということで、事前に各班でオリジナルのレシピを作成し、それを元に買い出しに出かけた後、実習を始めました。小学生も高校生も一緒に楽しく取り組む姿や、高校生が包丁の使い方を丁寧に教える姿なども見る事ができ、大変有意義な交流になったと思います。



また、11月21日(土)に行われました「第12回木更津こどもまつり」に家政科1年生8名が参加しました。当日は、天候にも恵まれ、多くの方々が集まりました。離乳食レストランのお手伝いや、参加者へのアンケート調査を通して、普段あまりふれあうことのない、小さな子どもたちや、そのお母さんたちとお話できる良い機会となりました。



久留里線の活性化に向けて

全日制生徒会顧問 永谷 聡

全日制生徒会は、昨年、千葉商科大学人間社会学部が主催する「久留里線プロジェクト」に参加しました。

1学期は、沿線地域の魅力スポットを紹介しました。出張ゼミという形で、大学の先生に、調査の仕方や相手に伝える方法を教えていただき、生徒は目を輝かせながら活動していました。自分たちが馴染みのあるお店を紹介することになり、「モンシェリー」「ラビン」「木旺舎」を取材しました。東高同窓生の皆さんにとっても懐かしい喫茶店ではないでしょうか。そして8月2日に、千葉商科大学にて「地元の女子校生が昔から利用している喫茶店」というプレゼンテーションをしました。また、大学の主催で編集された「るるぶ特別編集号」にも記事を掲載させていただきました。

2学期は「久留里線夢づくりコンテスト」に参加しました。これは久留里線の乗車率アップと、地域の活性化を目指し、地元の高校生たちが具体的なプランを考えるというものです。本校は、今まで活かし切れなかった地元の良さを、もっとアピールするために、地元食材を使ったオリジナル弁当の販売や、カフェトレインといった企画を発表しました。このコンテストには、木更津高校・君津青葉高校と本校の3校、4チームが参加し、結果は準優勝でしたが、地元の良いところを再発見できた活動となりました。

154名中内定135名

〔全日制 進路状況〕

平成28年2月18日現在

分類名	内定人数	主な合格・内定先
大学	14	江戸川大 大妻女子大 国際医療福祉大 至学館大学 淑徳大 城西国際大 帝京大 帝京平成大 東京家政大 東京情報大 東京聖栄大 武蔵野大
短大	17	大妻女子大短期 昭和学院短大 聖徳大学短期 清和大短期 千葉敬愛短大 千葉経済大短期
専門学校	医療	17 安房医療福祉専門 亀田医療技術専門 北原学院歯科衛生専門 君津中央病院附属看護専門 太陽歯科衛生士専門 千葉医療センター附属千葉看護専門 千葉医療福祉専門 千葉中央看護専門 東京医業専門 東京メディカルスポーツ専門 日本健康医療専門 二葉看護学院 木更津看護学院
	一般	38 ちば愛犬動物フラワー 国際理工情報デザイン アイエステティック美容 ジェイヘアメイク美容 ヒューマンアカデミーネイルカレッジ ミス・パリ・ビューティ ハッピースイーツ製菓 織田栄養 千葉調理師 華学園栄養 大原和服 織田きもの 華服飾専門 ファッションカレッジ桜丘 文化服装学院 神田外語学院 京葉介護福祉 大原簿記公務員 大原医療秘書福祉 国際トラベルホテル ブライダル 千葉医療秘書 千葉デザイナー学院 東京アニメーター学院 東京ビジュアルアーツ 代々木アニメーション学院など
就職	49	千葉県警 市川歯科医院 株式会社 オアシスグループ 大佐和自動車教習所 亀田総合病院 木更津ビューホテル 鴨川シーワールド 玄々堂歯科医院 サカタのタネ ザ・カントリークラブジャパン 千葉トヨタ自動車 山九 ジョイフル本田 新日製住金君津製鐵所 せんどう 千葉夷隅ゴルフクラブ 千葉メディカルセンター 津田屋 綱島園 ティ・エス・シー TJ Kリゾート 富分 日本郵便 萩原病院 東日本ツアーズ マザー・キープファミリー産院君津 ボン 山口医院

【大学・短大】

大学・短大進学希望者は例年とほぼ同数であった。大学、短大ともに、推薦入試やAO入試で合格を決める生徒が殆どであった。早い時期に進学先が決まり安心感を得ることができ、一方で、入学後の学力といった点では懸念が残る。

【医療系専門学校】

医療看護系の専門学校進学希望者は20名弱で、例年並みであった。看護師、歯科衛生士、理学・作業療法士、救急救命士、柔道整復士と希望は様々であった。

【一般の専門学校】

推薦入試やAO入試で受験する者が多く、難易度は高くない。それだけに目的意識の確かさが必要である。分野としては、理美容・調理・実務・芸術と多様であった。

【公務員の就職】

公務員希望者は若干名いたものの、合格はいなかった。

【企業の就職】

昨年に比べても求人数は増加し、早い時期での就職内定が目立った。就職の意志のしつかりしている者や職種の希望が明確な者は早くに就職先の決定まで至っていたが、反面、漠然とした就職希望者も相当数いて、なかなか内定までたどりつけていない状況も見られた。

台湾の高校生との交流

教諭 嶋野 文江(英語)

千葉県の森田知事は平成23年、26年に台湾を訪れ、トップセールスを行い、台湾国際教育旅行の会長などとも会談し、相互に教育旅行・修学旅行を増やし、幅広い交流を目指すこととした。

そのため本校では本年度2度にわたって台湾の高校生と交流する機会を得た。1回目は27年5月12日、国立中壢高級家事商業職業学校の生徒達と、2回目は10月28日の国立新竹女子高級中学校の生徒達との交流である。両校とも女子校ということで、お互いに親近感のもてる交流となったようである。

1回目は家政科の生徒達と手巻きずし作りや浴衣の着付け体験で交流し、2回目は2年生の体育の授業で木更津伝統舞踊「やっさいもっさい」を共に踊り、1、3年生の英語の授業でお互いの共通言語を英語としてそれぞれの言語、日常生活について話し合った。両回とも生徒会の本部役員が中心となり、出迎え、案内、見送り等の「おもてなし」を行った。放課後の歓迎セレモニーでは授業で交流できなかった生徒達も集まり、台湾の生徒達の歌やダンスを楽しみ、プレゼント交換などをして交流を深めた。お互い好きなアニメの話で盛り上がり、LINEのアドレスを交換し合い、楽しい交流となったようである。

このような交流を経て両国の生徒達相互の文化、歴史、言語の理解が深まっていけることを願っている。

「きみぶん演劇祭」最優秀賞・女優賞受賞

演劇部顧問 野中 芳治

平成27年10月10日、12日「きみぶん演劇祭」が君津市民文化ホールで開催されました。本校演劇部は越智優・作「夏芙蓉」を上演し、地区秋季発表会の最優秀賞を受賞しました。また個人賞として「女優賞」を1年生の奈良柚莉愛さんが受賞しました。今回2年生が音響・照明・舞台スタッフに回り、役者はすべて1年生という思い切った分担でした。

話の内容は、ある高校で卒業式があった日、深夜に仲の良かった女子4人が教室に集まり今日の出来事を楽しくしゃべり合いますが、やがて舞台の進行と共にある衝撃的な真実が明らかになるというものです。練習段階では一通り演技をした後で、部長を中心に修正すべき箇所を指摘し、部員同士で話し合いながら演技に磨きを掛けました。音響・照明スタッフは、機材が発表場所のものと丸で違うので、演技に合わせてシミュレーションを重ねて本番に備えました。本番の舞台では、役者は稽古の時よりも自然で奥行きのある演技が随所に見られ、支えるスタッフの頑張りがあって大変好評でした。

専門審査員の近内仁子さんから「最初のアハハ・ウフフという笑い方から女子校らしい空気感に包まれた。一人一人の役柄がくつきりと心に残り、芝居を見ていることを忘れさせるほど自然だった。」という講評を頂きました。

11月20日千葉県高校演劇研究中央発表会が千葉市青葉の森公園芸術文化ホールで開催され、よりパワーアップした好演となりました。

一定時制

定時祭・・次の一步は?

定時制生徒会顧問 金光 浩彰

今年度の定時祭のテーマは、「NEXT STEP」であった。昨年度まで定時祭は2日間で実施されており、1日目がおブニングセレモニー、2日目が中庭駐車場を会場としての一般公開のイベントであった。

年々定時制の生徒数が減少し、おブニング行事にエネルギーを注ぐと、クラスの出し物に、悪影響がはじめていた。そんな中で、定時祭を1日に縮小することは、苦肉の策であった。

手のかかる食品調理に挑戦するクラスが激減していたここ数年の傾向に比べ、今年は全クラスが食品調理販売にかかわってくれた。これはうれしいことではあった。ただ、それで全てよしという訳にはいかない。

給食が自校式でなくなり、正心ホールでの団欒が失われた。修学旅行も参加者の減少のため、実施が困難になりつつある。そうやって、ひとつずつ大切な何か「後退」を強いられている。

給食も修学旅行も定時祭も、それ自体は単位修得や卒業とは直接結びつかないものである。しかし、そういうことこそ、生徒ひとり一人の心の潤いやエネルギーの源泉だと思ふ。

だからこそ、踏ん張らなくてはならない。今が正に「正念場」であろう。「ネクストステップ」を「前進」の一步とすることは決して簡単なことではない。

給食の現在

教諭 松永 卓夫(給食部)

本校の給食が2年前にデリバリー方式になったとき、「ついにきてしまった。これで喫食率はどんどん下がり、その結果として栄養のバランスのある食事を摂らない(または摂れない)生徒が今以上に増えてくるな」と思ったが、実際その通りになった。

喫食率の下がった理由はいくつかあるが、やはり業者が相手なので給食費が完全前払い制になったことは大きい。学校の目標としては全員喫食をめざし、食育を推進することではあるが、現実的には生徒たちの食事の摂り方は多様化している。

県教委は、昨年11月18日、「定時制高校の給食のあり方について」という報告書を各学校に通知した。その中に「試行的廃止」という名目で昨年度から実施した東葛飾高校、千葉工業高校に加え、新たに本校(その他に松戸南高校と東金高校がある)も対象とした。

県教委が本校を試行的廃止にした理由は、①県南部②周辺に店が少ない③教育課程が特殊である、の3つである。

県からの通知以降、本校では教頭を中心に次年度の給食に替わる夕食の提供の方法を検討している。この会報が発行される頃までには、来年度の提供の具体案が進んでいると思われる。

八起・燦燦会に集う

小田部 康伊(定8回)

八起・燦燦会とは木更津東高等学校定時制第8回生、昭和33年卒業生の会

のことです。光輝めく語は仲間達から募って名付けたものです。

去る2014年6月14日(土)、外はすっかり初夏の陽気。他県の友や地元近隣の仲間達25名が集いました。幹事の方々の粋な計らいで、花菖蒲の咲く袖ヶ浦公園内を散策。白、臘脂、紫等、色や形の多種多様さと、その大輪の見事に花見心は高揚。大勢の観光客に混ざり、芸人の余興に見入ったり、出店に立ち寄りたりと、楽しいひとときを過ごしました。そして12時過ぎ、マイクロバスで宴会場へと移動。

昔の面影を残す顔々、声々。名前こそ思い出せず戸惑いはあるものの、声は高まり会話は弾んでいきました。

あれから半世紀。しかし時間差は一瞬にして埋まりました。そしてあの高校時代の思い出が蘇り、皆が一つに解け合う不思議な空気に包まれました。

奥様の手料理や、今も現役の和菓子職人の友の季節菓子なども宴会膳を賑わせました。また、人生のか弱さや健気さ、喜怒哀楽の一言を語るスピーチも、この集いを一層味わい深いものにしてくれました。

戦中から戦後の混乱期に育ち、食べるものにも事欠いた子供時代。決して恵まれたとは云えない生活環境の中で、師、友に支えられ学び続けた青春時代を追憶すれば、悲喜こももも身に降りかかった数々の事象はその人となり、人間形成の礎になっています。

この日、70余年を生き貫いてきた仲間達の表情には、金銭では計り知れないほのぼのとした温かさ、優しさ、幸

せ感が滲み出ているではありませんか。健康な姿、豊かな笑みに包まれて再会の喜びを共有できたことは、決して当たり前の出来事ではなく、どんなに貴重なことだったか。どんなに至福の時であったことか。先々痛いほど感じるに違いありません。

二次会でも松本環さんが歌う美輪明宏の「ヨイトマケ」に、誰一人言葉を発することなく聞き入りました。彼の人生の深み、熱き想いを垣間見、すばらしい時を共有したのです。

最後に、小泉義弥さんの名言です。その言葉とは「教養とは今日、用事がある。教育とは今日、行くところがある。」人生楽しむが勝ち。この期に及んで名残を惜しみ、再会を誓うての散会。外気にも心の内にも燦燦と射す光を見た一日でした。

—固い絆に生き逢って—

〔定時制 進路状況報告〕

進路指導主事 岩崎 康行

就職未決定者と未定者の内、数名の者は現在、仕事に従事しており現職継続に変わる可能性があります。また、進学未決定者は入試等を控えています。

平成28年2月18日現在

進学	大学	0名
	短大専門	1名
就職者		4名
現職継続者		20名
進学未決定者		3名
就職未決定者		3名
未定者		2名

会員のひろば

同窓会・クラス会だより

東高同窓会に出席して

平成27年8月23日の残暑厳しい一日、東高同窓会に出席し、来賓の先生方や校長先生の御挨拶を拝聴して改めて東高卒業生であったことを心から感謝し誇りに思い、胸を張る思いでした。

立派な若々しい卒業生に囲まれ、米寿の私達も年を忘れて若返り、おいしい料理と幹事の方々のお心こもるおもてなしに会話も弾み、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

私達33回生の最後の一年間は学業と学徒挺身隊として頑張った年でした。通学スタイルも今の高校生には想像もつかないもので、「頑張りましたよ、勝つまでは」のスローガンの下、母親の古着を縫い直した活動着に紺のモンペ、下駄ばきに肩からは防空頭巾をぶら下げ、鞆は手製の布袋でした。

戦後70年が過ぎて米寿を迎えても、このような厳かで華やかな同窓会に参加できた事に深い感謝を覚えます。最後に母校の益々のご発展と皆様のご多幸を祈ってペンをおきます。

佐久間 静子(本33回)

「ひとみの会」最後の学年同窓会

平成27年11月、木更津ビューホテルで、第9回学年同窓会が開催されました。昭和54年から5年置きに開催され、幹事も1組からの持ち回りで、一巡し、

その後から3年置きとなりました。

私達は、二高と呼ばれる最後の学年で、現在歌われている校歌の作詞をなさった隆高鑑校長先生のもと、諸先生方に良き教育を受け、育まれ、昭和36年3月に、校長先生の御退任と一緒に学校を後にしました。校歌を歌う度に朝礼の時のお話が心を過ります。

同窓会に参加出来る事は本当に幸せなことで、青春時代が心の拠り所と申しますか、友に会うことで人生への活力が湧き、蘇ってきます。そんな魔法のような不思議な力を感じます。

今回、恩師は蔵先生お一人でしたが、お交わりにならないお姿に、逆に元気を戴きました。とは言え、これからの事を考えると自信が持てず、互いを気遣って、次回からはクラス会にしようという決断し、閉会となりました。

「屹度、又、会えるよね」と、言葉を交わしながら・・・。

飯田 洋子(高13回)

同窓会総会懇親会へのお誘い

記

日時 平成28年8月28日(日)

10時より受付

会場 ロイヤルヒルズ

木更津ビューホテル

☎ 0438(23) 0211

交通 木更津駅西口より

無料送迎バスあり

懇親会会費 7000円

当番幹事 高28回生一同

平成27年度・28年度 役員紹介

会長	鹿島 典子	高12回
副会長・会計	竹山 良江	高19回
副会長	加藤 容子	高20回
会計監査	立木 絹子	高15回
会計監査	佐藤 明美	定65回
常任理事	矢島 和江	高15回
常任理事	鹿野 征子	高15回
常任理事	相川 利枝	高22回
常任理事	高橋めぐみ	高22回
常任理事	室前 恵子	高22回
常任理事	上條 祐美	高28回
顧問	羽山 順子	高9回
顧問	山本 昭裕	学校長
校内幹事	嶋野 文江	高30回
校内幹事	瀬戸 佳子	高31回
校内幹事	根本 恵子	高33回
校内幹事	村上 幸枝	高34回
校内幹事	小野 啓子	高47回
校内幹事	中谷 康則	定時
校内幹事	中原 忠男	定時

俳壇

高橋 正子 高12回

里明かり鎌足桜明かりかな

万緑や房州石の手掘跡

想ひ出は良きことばかり桜貝

土屋 信子 高17回

メール来て職場へ急ぐ春の闇

予定なき雨の休日路を煮る

草を刈る丸き母の背風が押す

鶴岡 久美子 高28回

袴の広き肩幅節分会

まどろみの午後の日射しや沈丁花

休日のでき場油照

編集後記

極寒の2月が29日で終わり春3月に入るのは人間の英知でしょうか。早春、芽吹きは希望の象徴！何か頑張れそうな気がしませんか・・・。

「東高同窓会報」も11号と漸く2桁になりました。母校や同窓会の情報源として、また会員相互の交流の懸け橋として、同期会やクラス会などには是非、有意義にご利用下さい。

ご寄稿戴いた皆様には感謝申し上げます。今号は金井さん、武田さんが退任し、佐藤明美さん、中原忠男先生が加わりました。

・住所変更、物故者の連絡は間違い防止の為葉書かFAXでお願いします。

・『創立百年史』(送料共5千円)在庫あります。問い合わせは同窓会(東高事務室)へお願いします。(鹿島)

